

第 1 5 回 肝炎治療戦略会議	
平成 2 7 年 8 月 2 7 日	資料 1

ウイルス性肝疾患に対する新規治療法に関する検討について

< 背 景 >

8月26日に開催された中央社会保険医療協議会においてレジパスビル／ソホスブビル配合錠（ハーボニー®配合錠）について審議され、8月31日に薬価収載されることとなった。これにより、セログループ1（ジェノタイプ1）のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変に対するレジパスビル／ソホスブビル配合錠が保険適用となるため、肝炎治療特別促進事業においてどのように取扱うべきか、対応方針を検討する必要がある。

現在、本事業では、インターフェロンフリー治療に対する助成は1回のみとしているが、セログループ1（ジェノタイプ1）に対する2つ目のインターフェロンフリー治療の登場により、インターフェロンフリー治療不成功後のインターフェロンフリー治療に対する取扱いについても併せて検討する必要がある。

< 検討事項 >

- （1）レジパスビル／ソホスブビル配合錠について医療費助成の対象とすべきか。
- （2）対象とする場合、必要な条件を検討。
 - ・ 対象患者について
 - ・ 診断書作成について
 - ・ 治療回数について
 - ・ 治療期間延長に係る取扱いについて
- （3）インターフェロンフリー治療不成功後のインターフェロンフリー治療について医療費助成の対象とすべきか。

等